

総務常任委員会 摘 録

1. 開催日 令和6年6月26日(水) 第2委員会室
2. 出席委員 桂藤和夫委員長 坪田朋人副委員長 谷口隆明 坂本義明 福山権二 國利知史
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 山根啓荘議会事務局長 植木佳那子議会事務局主事
5. 説明員 なし
6. 傍聴者 なし
7. 会議に付した事件
 - 1 所管事務調査及び閉会中の継続審査について
 - 2 その他

午後4時20分 開 議

○桂藤和夫委員長 ただいまから総務常任委員会を開会します。本委員会において、傍聴、写真撮影、録音録画を許可しております。

1 所管事務調査及び閉会中の継続審査について

- 桂藤和夫委員長 早速ですが、本日の協議事項ですけれども、所管事務調査及び閉会中の継続審査についてです。4項目ありますけれども、これをどうするか検討していけばいいかなと考えております。
- 局長。
- 山根啓荘議会事務局長 本日の協議は、閉会中の継続審査ですので、個々について言うのではなくて、これでいいかどうかというところを皆さんに諮っていただければと思います。
- 桂藤和夫委員長 事務局長から補足説明をいただきました。閉会中の継続審査が4項目ございますけれども、これでいいかどうか、皆様方の御判断を。これでよろしいですか。福山委員。
- 福山権二委員 所管事務調査をやっているように決めたものですね。これは全部報告していないので、途中でやめるわけにはいきません。当然継続しないといけないのではないですか。
- 桂藤和夫委員長 公文書年表記については、最近入れましたけれども、上の3項目についてはずっと継続的に調査なり、審査をしてまいった項目です。12月議会で報告しようと思っているのですけれども、特定事業主行動計画の進捗状況については、9月議会で。12月議会でたくさんするよりも、できるところから一つ一つ報告をしていけばいいかなと考えております。とりあえず閉会中の継続審査項目は4項目でいいかどうか、皆様方の御意見なり御判断をいただいて、なければこのまま4項目を調査するというのでよろしいですか。それでは、そういうことにします。
- 福山権二委員 この4項目をするのですけれども、指定管理の総括とか、公文書年表記、財政運営、これまで議論をしてきて、ポイントが大体あるので、できれば正副委員長で一定のまとめをもらって、それでいいか悪いかとしたほうがいいのではないかなと思う。皆さんに諮ってもらって。
- 桂藤和夫委員長 福山委員から、正副委員長でそれぞれまとめる方向で、素案をつくって、皆さんに

提示をして御意見を承り、報告をするような方向がいいのではないかと御意見です。それでよろしいでしょうか。それでは1点目は終わります。

2 その他

○桂藤和夫委員長 2点目、その他のところで何か皆さんから御意見がありますか。局長。

○山根啓荘議会事務局長 それでは、その他ということで、庄原市市議会ガイドブックを使った主権者教育の件で、庄原実業高校から申し込みがありましたので紹介をしておきます。御提案のあった主権者教育の日程希望が上がってきております。11月12日、1月7日、1月14日、1月21日ということです。時間帯としては、14時25分から15時15分の6限目ロングホームルームを使ってお願いしたいということです。対象は、3学年の全員で79名、教職員10名ということで、まずは日程を決めていただきたい。早めがいいのかなと思いますので、11月12日、総務常任委員会ということでどうかと思っております。一応、その日でもいいかどうかを諮っていただければと思います。もう一度日にちを言います。11月12日、1月7日、1月14日、1月21日の4案です。時間は14時25分から15時15分の6限目ロングホームルームを使ってお願いしたいということです。

○桂藤和夫委員長 副委員長。

○坪田朋人副委員長 人数が多いかなとは思いますが、一委員会で担当するという事で決まりますか。

○桂藤和夫委員長 局長。

○山根啓荘議会事務局長 基本は一委員会でお願いしたいと思うのですが、どうしても他の委員会にお願いしたいということでしたら、応援を頼むという手もあります。以前、格致高校でされたケースがあるみたいで、五島議員さんなどが受け持たれたらしいのです。説明をして、それからクイズ形式の対応をとったという状況でした。日にちを決めて、一委員会で対応できるかどうかは学校と調整する必要があるかなとは思っておりますので、まずは、そこを少し柔軟に考えて、この委員会として何日なら対応できるかというところで決めていただければと思います。

○桂藤和夫委員長 國利委員。

○國利知史委員 確か、内容には、選挙活動のようなことはしてはいけないということがあったと思うのですが、11月よりは、できれば選挙に近いほうが生徒さんたちには、選挙が身近に感じられるのかなとふと思いました。だから1月のほうが、主権者教育という意味でも身近に感じるのかなという思いはあります。

○桂藤和夫委員長 生徒全員が18歳ではないです。何人かが18歳となります。

○山根啓荘議会事務局長 そういう考え方もあるかもしれないのですが、早いほうが皆さん落ちつかれるのではないかなと思います。

○桂藤和夫委員長 いろいろ意見もありましたが、11月12日で計画してもいいでしょうか。予定として、第1候補ということで決定させていただいてよろしいでしょうか。詳細については、実業高校へ出向いて行って打ち合わせをすればいいかなと思っておりますので、また後日になります。調整をした上で、79名プラス教員10名、総勢89名の対応をするということになりますが、どういう形でやるかということも含めて、高校側とも多少協議をしないといけないかなと思っておりますので、よ

ろしく願いいたします。そのほか何かございませんか。それでは、次回の総務常任委員会を8日の10時から予定しようと思います。どうぞよろしくお願いいたします。以上で本日の総務委員会を散会いたします。お疲れのところ本当にありがとうございました。

午後4時33分 散 会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

総務常任委員会

委 員 長